バイオアクセル籾殻堆肥テスト結果：

菌の接種日 :2020 年 8 月 20 日　　調査日 :15 日後の 2020 年 9 月 4 日



処理区は明らかに腐熟化が進み、色が濃くなっています。

・農家さんの個々の堆肥小屋でも簡単に腐熟化できます。
・大規模堆肥センターでも簡単に堆肥化できます。

※モミ殻はケイ酸質成分(SiO2)の宝庫ですが、分解しにくいためこれまでは厄介者の代表でした。
それが短期間で腐熟化されるようになると一変して宝物視されるようになってきました。
理由は、モミ殻に含まれるケイ酸が稲体に吸収されやすくなると細胞はケイ化・硬化し、
①倒伏しにくくなり、②ケイ酸吸収により、健全な稲体になるからです。
これまで厄介者だったもみ殻を一挙に宝物に変えられるのがバイオアクセルです。

～農家の声～

●青森県東北町K様
秋、田んぼに鶏糞堆肥を使用している。同時使用で耕起し春まで放置、欠株が少なくなった。

●秋田県大仙市N様
秋に使用　春に耕起したが例年よりロータリーが軽く感じた。毎年風下のゴミ上げが大変なのだが今年は皆無。

●秋田県大曲市S様
収穫した分の籾殻を田に戻してからバイオアクセルを使用し秋起こしを行った。翌春例年より田に残骸が少なかった。

●青森県青森市H様
使用2年目になるが使用した田ではワキの発生が抑えられる様に感じる。10a辺りのコストが余り掛からなくて良いと思う。

●秋田県大仙市K様
秋に撒くだけなので作業はラク。腐熟化しているため田植え時の引っ掛かりが少なく、抵抗がなく滑る様に作業が出来たのでラク。ガス発生がかなり少なかった。

～以上、さまざまな良い結果の声が届いております。

ロイヤル インダストリーズ株式会社
〒201-0003 東京都狛江市和泉本町1-15-19
TEL 03(3489)1408　FAX 03(3489)9308

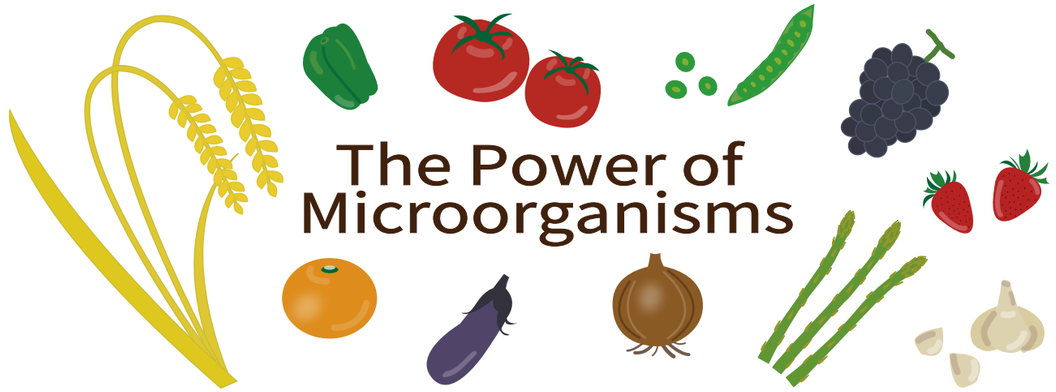
2023.12

厄介な籾殻も短時間（約２～３週間）で堆肥になります！！

BIOACCEL

バイオアクセル（粒）

（通気性菌・好気性菌）



■ 特長 ■

『バイオアクセル』には有機物を短期間に分解・腐熟化する働きがあります。分解・腐熟化する際に発熱しないため、切り返しが不要です！手間もかからず、作業が簡単になります！！

- 様々な有益菌の作用で、生・未熟有機物は速効的に分解・腐熟化します。
- 土壌中の微生物相が改善されるため、土壌病害・連作障害は軽減され作物は健全に育ちます。
- 緑肥や前作の作物残渣はそのままの状態で鋤き込むことができます。堆肥小屋に運び堆肥化する作業と切り返し作業が不要になるため、労力を大幅に軽減できます。
- 豚糞、牛糞、鶏糞等を速やかに発酵分解するため、消臭効果が期待できます。

KELPAC RIC www.kelpak.co.jp SINCE 1979

ロイヤル インダストリーズ株式会社

■ 本圃への使用方法 ■

※ 基肥は通常通り施用することを基本とします。

緑肥・前作残渣は
そのままで
バイオアクセルを撒く。
その際、エサとして硫安、
尿素を撒く。
1

→ ロータリー
で
鋤き込む
2

→ 2 週間～ 3 週間後に
腐熟化するため

→ 直ぐに
定植・播種が
可能と
なります
3

■ 使用量 ■

バイオアクセルが働くには醗酵初期に微生物のエサとなるチッソ成分が必要です。チッソ源としては尿素、硫安、鶏糞、牛糞、豚糞、米ヌカ、油粕、大豆粕がありますが、有機、特栽の場合は尿素、硫安は使えませんのでご注意下さい。

圃場別	バイオアクセルの使用量 /10a	処理時期	処理時の状態
水 田	3 ～ 4 kg (同時に硫安 1kg、又は尿素 1kg を施す)	①収穫直後の水田に施す 又は ②荒起前又は荒起時に モミ殻に振りかける	切り株はそのままの状態で、 ワラは散らかったままの状態で OK。 厄介な籾殻も田に戻すときに本菌を 混ぜバラ撒いて置くか積み上げて おくだけで春までに腐熟します。
果樹 畑作	10 kg (同時に米ぬか 10kg 施すか 又は乾燥鶏糞 60kg 施す。併せて 硫安 2kg 施すか、又は尿素 2kg を施す)	①緑肥作物鋤き込み時 又は ②前作の残渣鋤き込み時 又は ③落葉上に散布するだけでＯＫ	緑肥作物、前作の残渣は そのままの状態で OK

堆肥作りの例（1 トン当たり）	※醗酵時、熱が発生しないため切り返し不要です。
牛、豚、鶏糞 1 トン当たり	バイオアクセル 3 ～ 4kg 使用
ワラ、モミガラ、緑肥、作物残渣 1 トン当たり	バイオアクセル 3 ～ 4kg＋乾燥鶏糞 60kg＋硫安 1kg （又は尿素 1kg)＋水 100L

※微生物の醗酵を促進するためには適度の水分が必要です。乾燥している場合は鋤き込み後に灌水して下さい。

■ 注意事項 ■



- 石灰窒素や土壌消毒剤の使用後は、ガス抜きを十分行ってから本資材を使用して下さい。バイオアクセルの菌が死滅する可能性があるからです。
- 本資材は微生物資材ですので、お早めにご使用下さい。
- 開封後は使い切ることをお勧めしますが、保管する場合は乾燥しないようにしっかりと袋の口を閉じ、冷暗所で保管して下さい。また、6 か月以内に使い切ることをお勧めします。
- 事故防止のため、幼児の手の届かない場所に保管して下さい。

■ 製品規格 ■

10ｋｇ入り ×2 袋 ／ ケース

令和元年
収穫後の田にバイオアクセル 3.3kg/10a 散布した試験結果
（秋田県大仙市Ｋ様）



令和元年 11 月中旬に使用し秋起こし無、翌年の 4 月 24 日に耕起した田。

写真左：無処理田　　写真右：処理田

明らかに昨年の切り株はバラバラになり、ワラも堆肥化している事が分る。

代掻き作業前の画像



無処理田 (畔の左側)　処理田 (畔の右側)

○無処理田は大量のワラが風に吹かれて集まっている事が分る。



処理田

○処理田は稲わら等の残骸が見られない。